

時間生物学セミナーシリーズ

(科学技術研究所講師招聘助成)

演題名：**体内時計の神経回路機構**

演 者：**中村 渉 博士**

(大阪大学大学院歯学研究科口腔科学フロンティアセンター時間生物学研究室・准教授)

日 時：2015 年 2 月 4 日 (水) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所：6 号館 204 教室

セミナー概要

この 20 年、生体内で 24 時間の時を刻む体内時計の分子メカニズムが明らかにされる一方で、睡眠・覚醒や体温、ホルモンリズムといった生理機能の日内変動制御メカニズムはどこまでわかってきたのでしょうか？

本講演では哺乳類の体内時計中枢として知られている視床下部・視交叉上核がどのように生体リズムを制御するのかについて解説します。

とかく乱れがちな大学生の日常生活の問題点を、神経科学的視点からみつめなおすことができるはずです。

< 演者紹介 >

中村 渉 先生：大阪大学歯学研究科口腔科学フロンティアセンター准教授（時間生物学研究室）



1997 年北大学歯学部卒（歯科医師免許取得）、同大医学研究科、米国バージニア大学、大阪バイオサイエンス研究所などを経て、2008 年より大阪大学テニュアトラック准教授。2013 年 4 月より現職。JST さきがけ研究者としても活躍し、有名専門誌ならびに一般誌に多くの論文を掲載している。時間生物学・環境生理学をリードする今最も熱い研究者の一人である。

※「体内時計」は、ほとんどすべての生物が持っている機能です。研究対象生物に関係なく、教員、大学院生、学部生の皆さまの今後の研究に役立つ内容です。皆さまのご参加をお待ちしております。

連絡先：生命科学科動物生理学研究室 中村孝博（5-405、内線7823）